

# 1カ月遅れの田植え体験

## 愛知川小 農業への理解深める

### 愛 荘

愛荘町の愛知川小五年生

児童九十七人が二十五日、同町沓掛の田んぼで恒例の田植え体験をした。

農事組合法人「ドリームアグリ沓掛」が主催。農家の仕事について理解を深めてもらう授業の一環。五月八日に実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響による臨時休校で延期されていた。

授業時間確保のため実習に時間を割きづらい状況の中でも、大切な経験をしてもらおうと実施。要望を受けた町や自治会、東びわこ農協などが協力した。

三密を避けるため児童たちは三グループに分かれ、

泥だらけになりながら苗を植える児童＝愛荘町沓掛で



それぞれの時間ごとに集合。泥にまみれながらまた

ヒカリの苗を八〇坪の田んぼに植えていった。  
中江快斗君（こは）は「初めてだったけどいっぱい植えられるって楽しかった」と笑顔を見せた。九月に稲刈りがある。  
（倉掛雅史）